

事業名	やまなし土木施設環境ボランティア推進事業費		
細事業名	やまなし土木環境ボランティア推進事業費	財務コード	666801
担当部課室	県土整備 部 県土整備総務 課 総務経理 担当 (内線)		7055

事業の概要

実施期間	始期 H15 年度 ~ 終期 年度
実施主体	県(直営)
事業の目的	だれ(何)を対象に 県が管理する道路、河川、公園などの環境美化活動を行うボランティア団体(住民団体、学校、企業)
	その対象をどのような状態にして 身近な土木施設の清掃、除草、草花の植栽などの美化活動を定期的に行っている
	結果、何に結びつけるのか 土木施設の維持管理及び地域の環境に対する住民意識の高揚を図り、もって快適なまちづくりを推進
事業の内容 主にH27年度	土木施設環境ボランティア推進事業(活動団体への支援) 対象施設: 県が管理する道路、河川、公園 対象区域: 基本的に最小区域は延長100m以上、または面積200㎡以上 活動内容: 清掃、除草、草花の植栽、情報提供等(活動は月1回程度、年間を通じて実施) 対象団体: 1団体5名以上、自治体、老人クラブ、商店会、住民の有志等地域住民団体、並びに企業、学校等及びその従業員、児童生徒等の団体 支援内容: 美化活動に必要な道具等の支給、ゴミ袋の支給等及び参加者を対象としたボランティア保険への加入
根拠法令等	

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

事業の実施状況と目標の実現度	26年度	27年度		28年度	29年度	事業目標の考え方	
	実績値	目標値	実績値	見込値	目標値		
活動指標	参加団体数/目標 団体数	93	93	93	95	95	活動指標 目標設定の考え方 予算要求段階で、各建設事務所の今年度の新規手続き状況及び見込みを確認し、目標値を設定 データの出典等 目標: 予算書、実績; ボランティア登録台帳
	活動指標達成率 (実績値/目標値)		100.0 %				
成果指標	参加人数	5,139	5,230	5,085	5,342	5,342	成果指標 目標設定の考え方 予算要求段階で、各建設事務所の今年度の新規手続き状況及び見込みを確認し、目標値を設定 データの出典等 目標: 予算書、実績; ボランティア登録台帳
	成果指標達成率 (実績値/目標値)		97.2 %				
決算額又は予算額 (千円) うち一財額	2,054		2,713	2,820	2,585	2,585	成果指標によらない成果
所要時間(直接分)	313 時間		313 時間	313 時間	313 時間	313 時間	観光地周辺では、当初は除草作業のみを行っていた団体が、新たな取り組みとして草花を植えるなど、活動が活発となった。またボランティアに登録している団体のうち、「上高砂まちづくりプロジェクト」は活動の成果が、県土の景観形成に貢献していると評価され、美しい県土づくり大賞(活動賞)を受賞した。
所要時間(間接分)	0 時間		0 時間	0 時間	0 時間	0 時間	
所要時間計	313 時間		313 時間	313 時間	313 時間	313 時間	
人件費コスト単位:千円 (@2,044円×所要時間)	640		640	640	640	640	

これまでの事業の見直し・改善状況

--

活動量と成果の判断(平成27年度の業績評価)

(1) 事業は予定された活動量を上げているか (「活動指標の達成率」等から事業の活動量を判断)		
数値判定		活動量に係る一次評価の考え方 数値判定と一次評価が異なる場合等に記載すること
H27年度活動指標の達成率	活動量に係る一次評価	
b	b	

a: 予定を超えた活動量がある(120%以上) b: 予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満) c: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満)
 d: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満)

(2) 事業は意図した成果を上げているか (「成果指標の達成率」、「成果指標によらない成果」から事業の成果を判断)		
数値判定		成果に係る一次評価の考え方 必ず記載すること
H27年度成果指標の達成率	成果に係る一次評価	H27年度の参加人数は、目標値5,230人に対して、実績値5,085人で達成率97.2%となっており、ほぼ意図した成果を上げている。 また、H23年度には、「入山川を美しくする会」が山梨環境保全功労者表彰を受賞し、H26年度には「上高砂まちづくりプロジェクト」の活動成果が、県土の景観形成に貢献していると評価され、美しい県土づくり大賞(活動賞)を受賞するなど、「やまなし土木施設環境ボランティア」としての活動が高く評価されている。
b	b	

a: 意図した成果を十分に上げている(120%以上) b: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満) c: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満) d: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)

見直しの必要性(平成29年度に向けた改善等の考え方)

一次評価(担当部局評価結果)		
見直しの必要性	説明	以外の判断項目
無	本事業は、公共土木施設の維持管理に対する住民意識の高揚を図り、快適なまちづくりを推進することを目的として実施されてきたものであるが、H18年度(参加者2,179人)からH27年度(参加者5,085人)までの10年間で参加者が倍増し、活動は全県に広がり、事業の効果は着実にあらわれている。 ボランティア団体が、公共土木施設の清掃や美化活動を行うことで、公共土木施設の利用者へのマナー向上のメッセージにつながるのと同時に、この活動が地域住民等のコミュニケーションを活発にし、コミュニティ活動の活性化につながり、よりよい生活環境の形成に大きく貢献している。 また、本事業は、県、ボランティア団体、市町村(協力者)の3者間で、作業内容等を合意、確認して、合意書を締結し、支援を確立することで、安心して活動することが出来ている。 さらに、この活動の参加者にとっては、公共土木施設を自らの手で清掃や美化活動を行うことで、地域の安全性の向上や景観保全に貢献するというやりがいを持つことにも繋がっている。 本事業は、公共土木施設の維持管理に対する住民意識の高揚を図り、快適なまちづくりの推進に大きな効果があることから、今後も継続していく。	

・「以外の判断項目」の欄
 a: 目的の達成 b: 新たな課題への対応 c: 対象の変化 d: ニーズの変化 e: 法律・制度の改正 f: 民間等実施 g: 市町村等へ移管 h: 外部委託
 i: 経費節減 j: 類似事業と統合・連携 k: 所要時間の縮減 l: プロセスの改善 m: その他

二次評価(担当部局再評価結果) 行政評価アドバイザー会議(外部評価)での指摘事項を踏まえた担当部局による再評価		
見直しの必要性	説明	以外の判断項目
有	本事業の更なる推進には、近年横ばい状態が続いている登録団体数及び参加者数の増加が必要であるため、地域住民の本事業への関心の向上、新規登録団体の掘り起こしについて、効果的な方法の検討を進める。 参加者に支給している清掃等に必要物品については、他県の支給方法、管理方法等を調査し、その方法を参考にしながら、物品の適切な支給と経費の節減を図るとともに、物品支給にかかる事務をより迅速に行える方法を検討する。	m

・「以外の判断項目」の欄は、上記と同様とする

見直しの方向(平成29年度当初予算等での対応状況)

見直しの方向	具体的な実施計画等 「見直しの必要性」と「見直しの方向」が異なる場合は、その理由も記載すること
実施方法等の変更	登録団体が少なく、前年度に比して、登録団体が減少している地域については、事業活性化重点地域とし、所轄の建設事務所が市町村と連携し、市町村広報誌への本事業の掲載や地域自治会等へ本事業の紹介を行い、新規参加団体の掘り起こしを行う。 今後、環境ボランティア団体に支給する物品については、物品管理台帳を新たに作成し、支給した物品を登録することで、次回以降の活動の際、支給した物品の使用状況を環境ボランティア団体に確認し、余分な物品の支給を防止する。

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止(施設については「譲渡）」、「終期設定」、「休止」、「他事業と統合」、「縮小」、「拡大」、「実施方法等の変更」、「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること
 ・見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること

自主点検シート(事業の内容及び所要時間)に関する附属資料

様式2

所属名: 県土整備総務課

細事業名: やまなし土木環境ボランティア推進事業費

調書番号: 13

事業の内容を細分化した業務名	具体的な業務プロセス(手順)	業務の時期(フロー)	H27 所要時間 (h)	H28 所要時間 (h) A	H29 所要時間 (h) B	縮減等 B - A	具体的業務の見直しの内容	見直しに至った理由等 (又は見直しなしの理由等)
1 予算管理業務	予算配分作業	4~5月	1	1	1	0	なし	業務上必要なプロセスであり、最短の所要時間で処理しているため
	予算令達事務	4~5月	1	1	1	0	なし	"
	保険加入事務	4月	8	8	8	0	なし	"
	予算要求資料作成	10月	12	12	12	0	なし	"
	認証プレート発注配布	1月	3	3	3	0	なし	"
	年度活動報告取りまとめ	3月	16	16	16	0	なし	"
	次年度活動計画とりまとめ	3月	8	8	8	0	なし	"
(小計)			49	49	49	0		
2 活動団体対応業務	予算令達事務	通年随時	8.0	8.0	8.0	0	なし	業務上必要なプロセスであり、最短の所要時間で処理しているため
	物品・資材購入及び支払い事務	通年随時	73.0	73.0	73.0	0	なし	"
	新規団体募集・登録活動	通年随時	13.0	13.0	13.0	0	なし	"
	団体への物品・資材購入支給事務	通年随時	91.0	91.0	91.0	0	なし	"
	次年度活動計画取りまとめ報告	3月	40.0	40.0	40.0	0	なし	"
	年間活動実績取りまとめ報告	3月	39.0	39.0	39.0	0	なし	"
(小計)			264	264	264	0		
3						0		
						0		
						0		
						0		
						0		
(小計)			0	0	0	0		
所要時間 (計)			313	313	313	0		

(留意事項)

- 1 事業を細分化した業務名は、事務事業を構成する業務ごとに細分化し、その業務名を記載すること。
- 2 具体的な業務プロセス(手順)は、できる限り多くのプロセスを記載すること。
- 3 業務の時期は、業務のフローがわかるように具体的な業務プロセスごとに記載すること。(毎月、四半期ごとの業務等は、その1サイクルの期間を記載すること。)
- 4 各年度の所要時間(計)は、事務事業自主点検シートの「事業の目標、実施状況等」の「所要時間計」と一致すること。
- 5 具体的業務の見直しの内容は、わかりやすく簡潔に記載すること。(県民から見て分かりやすい表現とすること。)なお、見直しがない場合は、「なし」と記載すること。
- 6 見直しに至った理由または見直しなしの理由は、詳細に記載すること。(具体的な業務プロセスごと、または細分化した業務ごとに記載すること。)
- 7 適宜、業務内容に合わせ、行を加除して記載すること。(複数ページ可)